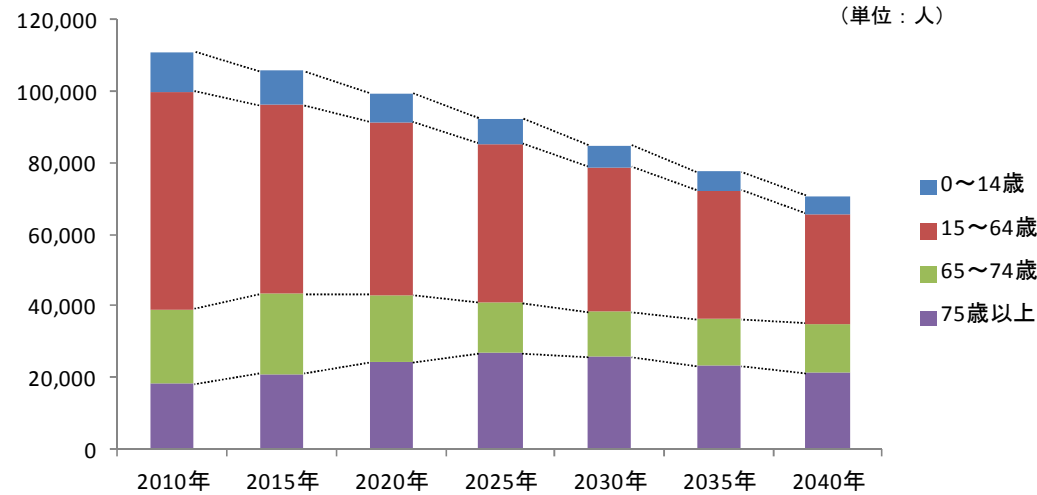


1 人口構造の変化の見通し

- ・ 2010年の人口は約111千人。
- ・ 2025年及び2040年の推計人口はそれぞれ約92千人、70千人、2040年の人口減少率は36%で賀茂圏域に次ぐ高い率となっている。
- ・ 65歳以上人口は2025年に向けて約5%増加するが、2040年には約10%減少する。75歳以上人口は2025年に向けて約48%増加するが、その後減少する。



	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
0～14歳	11,230	9,583	8,133	6,989	6,009	5,409	5,002
15～64歳	60,823	52,948	48,083	44,439	40,618	35,864	30,736
65～74歳	20,846	22,178	18,846	13,949	12,481	13,143	13,857
75歳以上	18,149	21,110	24,330	26,895	25,774	23,174	21,151
総数	111,048	105,819	99,392	92,272	84,882	77,590	70,746

2 構想区域の現状と課題

○疾病・事業別の状況

- ・ 病院は7病院あり、一般病床主体の病院が3病院、療養病床主体の病院が4病院となっている。
- ・ 病院の病床数の内訳は一般病床が68%、療養病床が32%と概ね県平均と同等の割合である。
- ・ 有床診療所は、許可ベースで14診療所、202床あるが、稼働ベースでは9診療所、約140床と、現在は入院患者を受け入れていない診療所もある。
- ・ 診療所医師の高齢化が進んでおり、今後の在宅医療支援体制において大きな課題となっている。
- ・ 患者の流出割合が高い圏域であり、流入は県外、駿東田方圏域から、流出は駿東田方圏域、県外の順に多い。(平成26年度在院患者調査)
- ・ 全世代の死亡状況を県全体と比較すると、男女とも悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、肝疾患等の標準化死亡比が優位に高くなっている。

○基幹病院までのアクセス

- ・ 病床200床以上の病院は国際医療福祉大学熱海病院と伊東市民病院の2病院で、傷病別人口カバー率は、概ね自動車運転時間15分以内で約40%、30分以内で約80%、60分以内で95%超である。
- ・ 圏域内に高度急性期機能を担う救命救急センターやがん診療連携拠点病院はないため、主に依存する隣接医療圏の順天堂大学医学部附属静岡病院、静岡がんセンターまでは峠越えとなり、アクセス時間も要する。

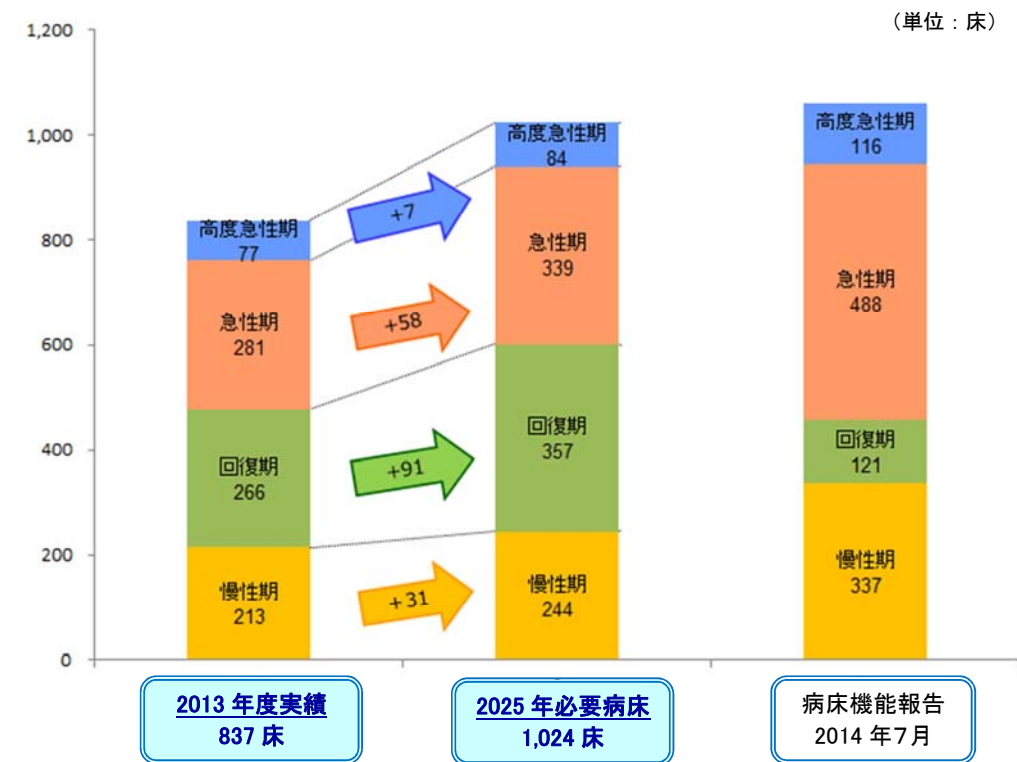
○平成26年度以降の状況変化と今後の見込

- ・ 新規病床整備計画として、「熱海 海見える病院」が平成28年度に112床(一般40、療養72)を新設、「国際医療福祉大学熱海病院」が平成29年度に64床(一般50、療養14)の増床を予定

3 医療需要と2025年のあるべき医療提供体制

○2025年の必要病床数

- ・ 2025年の必要病床数は1,024床。2013年度実績から187床の充実が必要になると推計される。
- ・ 高度急性期は7床、急性期は58床、回復期は91床、慢性期は31床の充実が必要になると推計される。
- ・ 2025年の必要病床数のうち、高度急性期、急性期、回復期の小計は780床、慢性期は244床。



○2025年の在宅医療等の必要量

- ・ 2025年に向けて、在宅医療等の医療需要は424人、うち訪問診療分について145人増加すると推計される。
- ・ 2025年の在宅医療等必要量のうち、訪問診療分の内訳は約39%。

